

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2010年4～6月期)

第57回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成22年1～3月との比較）
 - （2）前年同期比（平成22年4～6月との比較）
 - （3）来期見通し（平成22年7～9月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	168社
回答率	33.6%
(業種別)	
製造業	56社
建設業	30社
卸売業	14社
小売業	38社
サービス業	30社
合計	168社

(2) 実施時期

平成22年4～6月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 ") - (悪化 ")

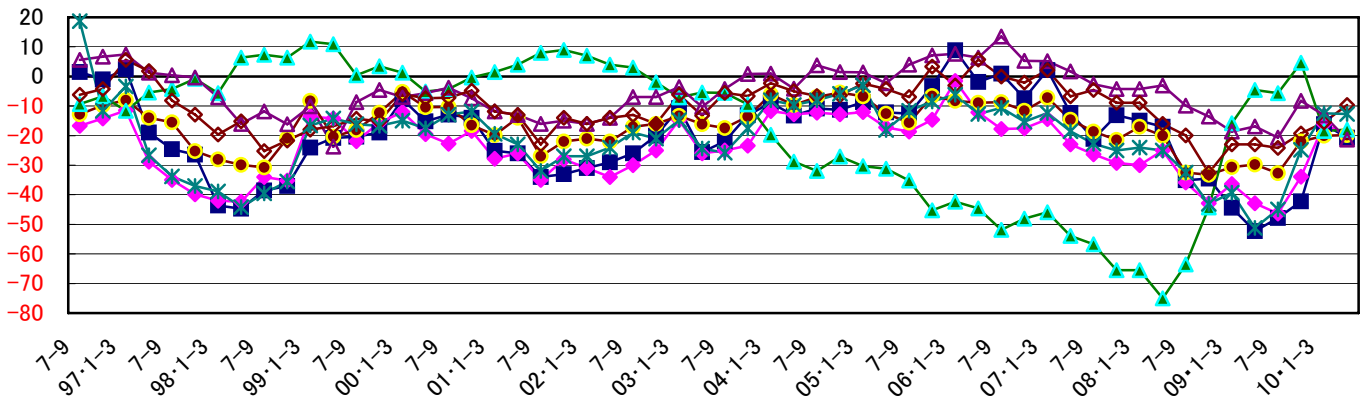
資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")

仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")

雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")

設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")

業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	10-12	08・1-3	4-6	7-9	10-12	09・1-3	4-6	7-9	10-12	10・1-3	10・4-6
■売上	-13	-15	-17	-35.1	-34.5	-44.4	-52.3	-47.9	-42.2	-16.1	-20.7
◆採算	-29	-30	-25	-35.8	-42.9	-36.4	-42.9	-46.3	-33.9	-16.2	-19.6
●資金繰り	-21	-17	-20	-32.5	-33.3	-30.6	-29.8	-32.7	-22	-20	-19.8
▲仕入価格	-66	-66	-75	-63.6	-44.3	-15.8	-4.6	-5.6	4.6	-18.4	-18
△雇用状況	-4	-4	-3	-9.9	-13.5	-18.6	-16.9	-20.7	-8.3	-13.1	-21.3
◇設備投資	-9	-9	-16	-19.9	-32.6	-23	-23	-24.2	-19.3	-15.5	-9.7
*業況	-25	-24	-25	-32.5	-43.1	-39.3	-51.2	-44.9	-24.8	-12.5	-12.7

3. 概況

「口蹄疫影響による売上減少に好転の兆し見えず」

(1) 今期の特徴

今期のDI値は、全てのDIにおいてマイナス幅が大きく拡大した。前回調査ではマイナス幅の縮小が進んでいたものの、引き続き景気不安により全業種を通して、受注量の減少が深刻な状況を招く要因となっている様子である。業況の悪化が続く中、口蹄疫の発生による影響が大きく経営を圧迫する形となって表れている。また、円高の影響を受け、仕入単価の上昇より、採算ベースに乗らない需要が続いている。

(2) 来期の見通し

来期の見通しとしては、口蹄疫終息宣言を受けて、今後の復興に向けての取り組みによる収益の回復を期待している。しかし、口蹄疫による被害は多く、離れてしまった県外客の来県をうながす方針、中小企業に対する国・行政の補助等を期待する状況である。

長引く不況に対し、追い討ちをかける今回の事態より、現状の回復を全産業を通し望まれている。少しずつの収益回復を行う状況が続く。

(3) 経営上の問題点

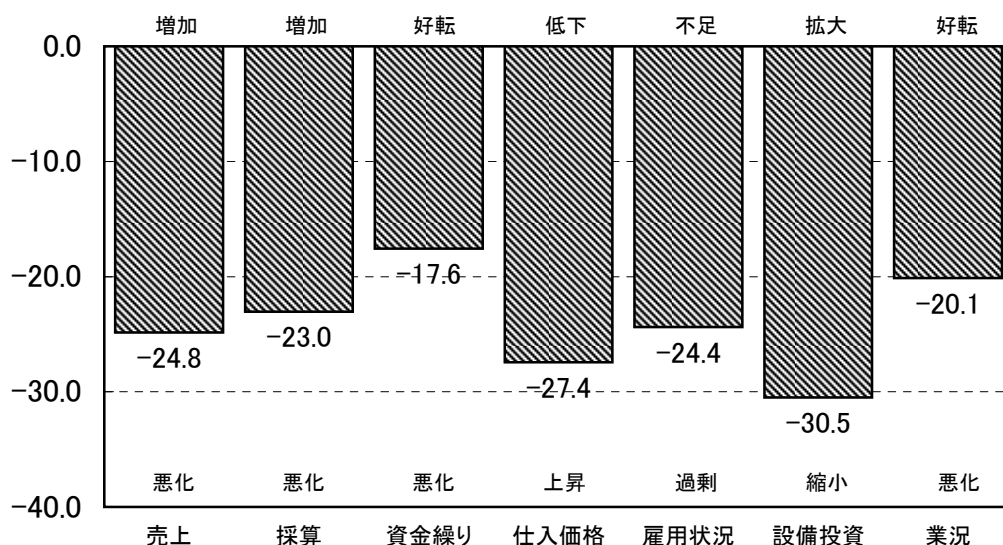
今回の上位順位は、1位に「需要の停滞」をあげる企業が多く、2位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」、3位は「原材料（仕入単価）価格の上昇」と続いた。

(4) 今後の対応策

今回の上位順位は、1位に「その他の合理化を実施したい」、2位に「新規事情を開拓したい」、3位は「新製品の開発を行いたい」と続き対応策には変動が現れなかった。

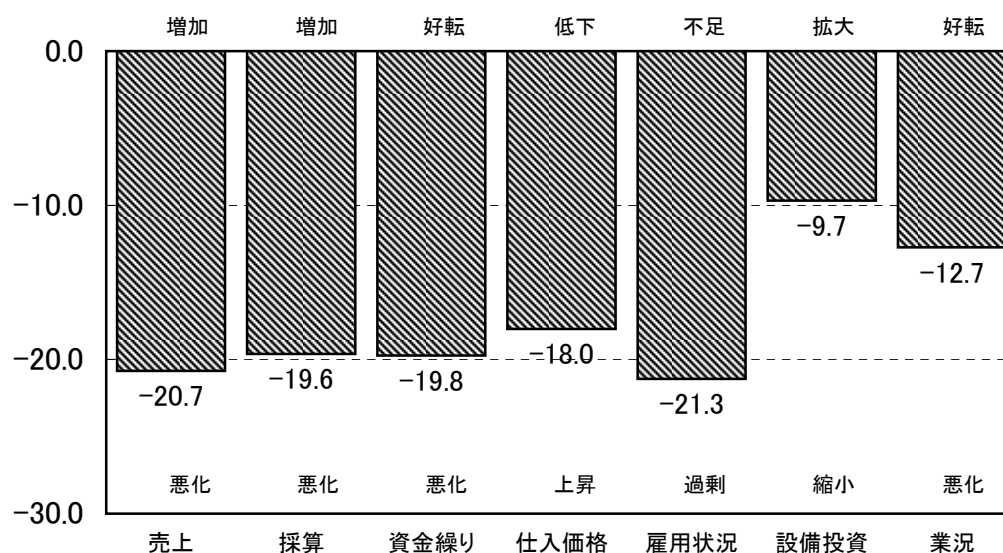
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成22年1～3月比)



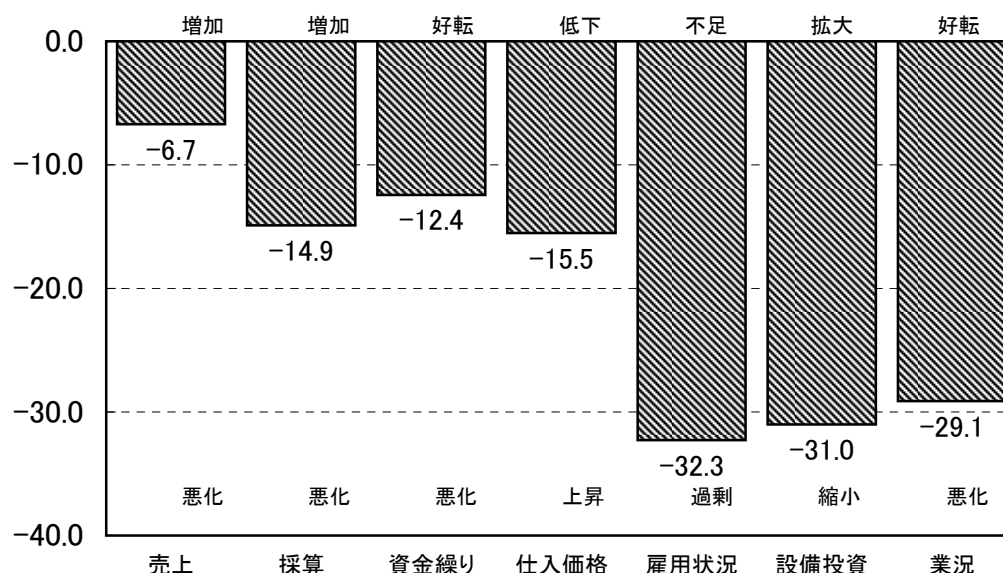
前期比DIを見ると前回調査時から全ての項目でマイナス数値が大きくなった。項目別に見ると雇用状況DIが15ポイントマイナスとなり収益・受注ともに見込めない状況が続く、雇用過剰の状況が生まれ全産業を通して、依然として厳しい。

前年同期比(平成22年4～6月比)



前年同期比DIを前回調査と比較すると、雇用状況のマイナスが大きく、その他の項目においては横ばいの状態であった。しかし、依然として売上減少の悪化は大きく、それに伴って採算の悪化が起こっている。全業種を通して、前年同期比からの好転は見られなかった。

来期見通し(平成22年7～9月見通し)

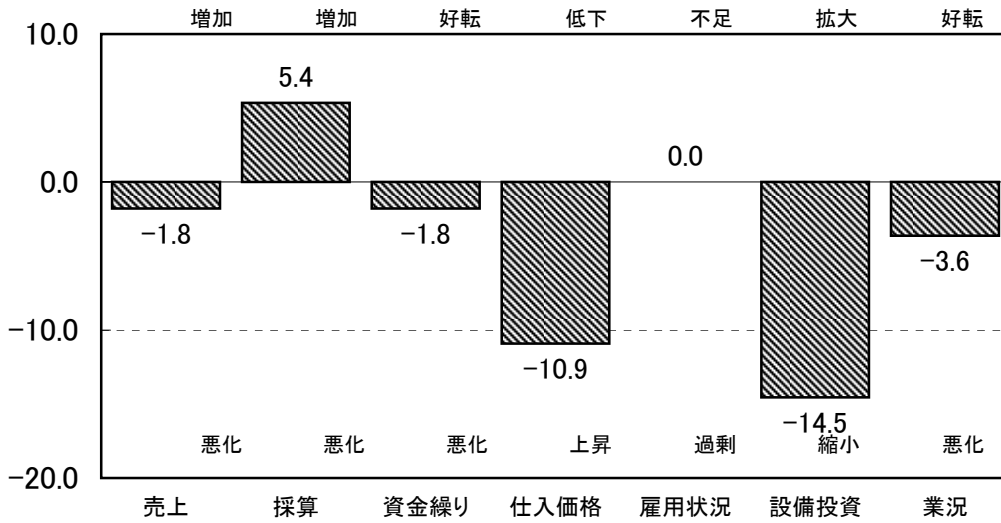


来期の見通しとなると、売上・採算DIの回復が大きく見込まれている結果を示した。全業種を通して、受注の見込みがあることや、自社努力による営業回復を挙げる企業が多い。一方、さらなる経営の悪化を懸念する声もあり、引き続き厳しい状況が予想される。

5. 業種別の景気動向

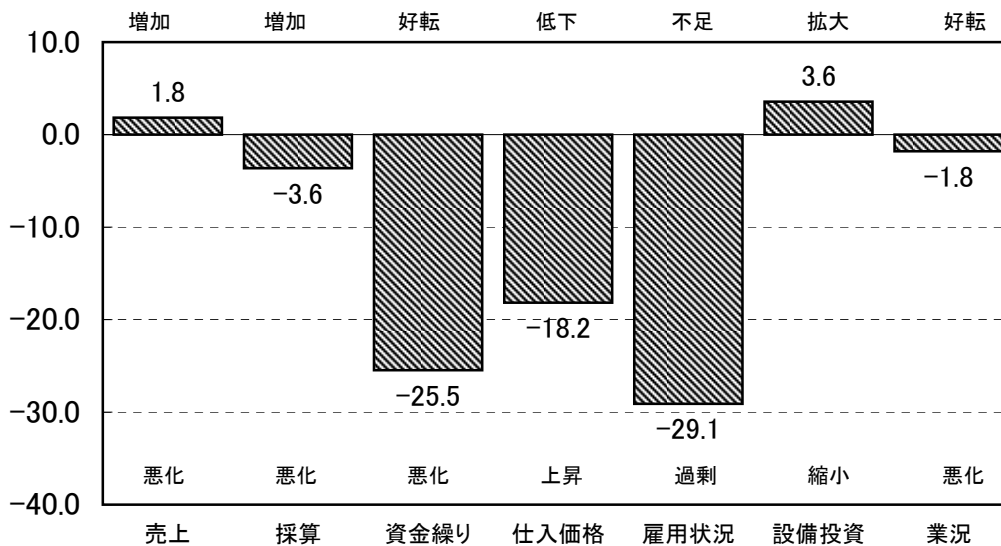
(1) 製造業

前期比(平成22年1～3月比)



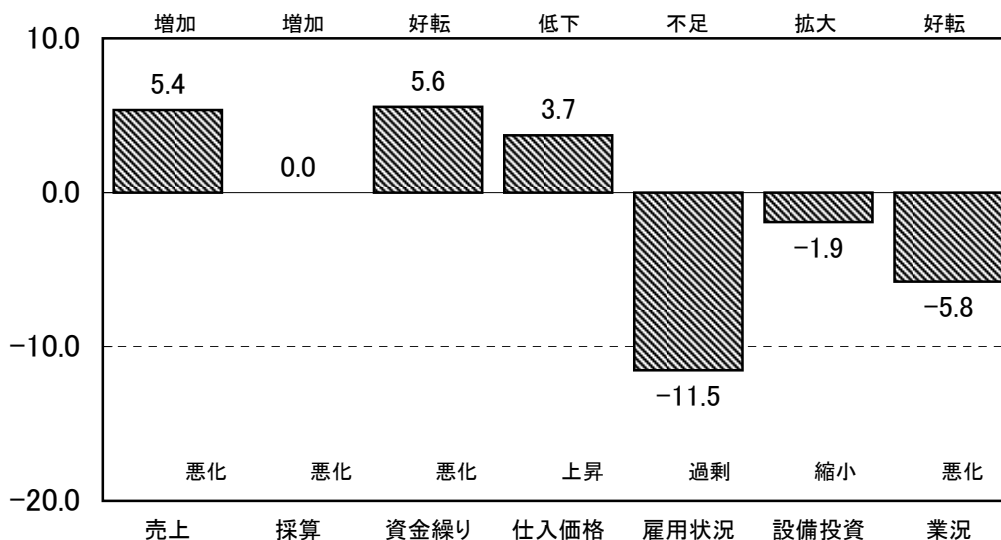
前期比を前回調査時と比較すると、売上DIならびに採算DIにおいて大きな回復を見せた。採算は(△17.5)より24ポイント近い好転を示した。受注の増加が好転を示す結果となった様子であるが、仕入単価上昇による収益率の低下が懸念される。

前年同期比(平成22年4～6月比)



前年同期比を前回調査時と比較すると、売上DI・設備投資DIで回復を示した。反対に資金繰りについては(△5.3)より20ポイント近い悪化を表し、企業の置かれる厳しい状況が見える。採算の見合う受注が増えることが望まれている。

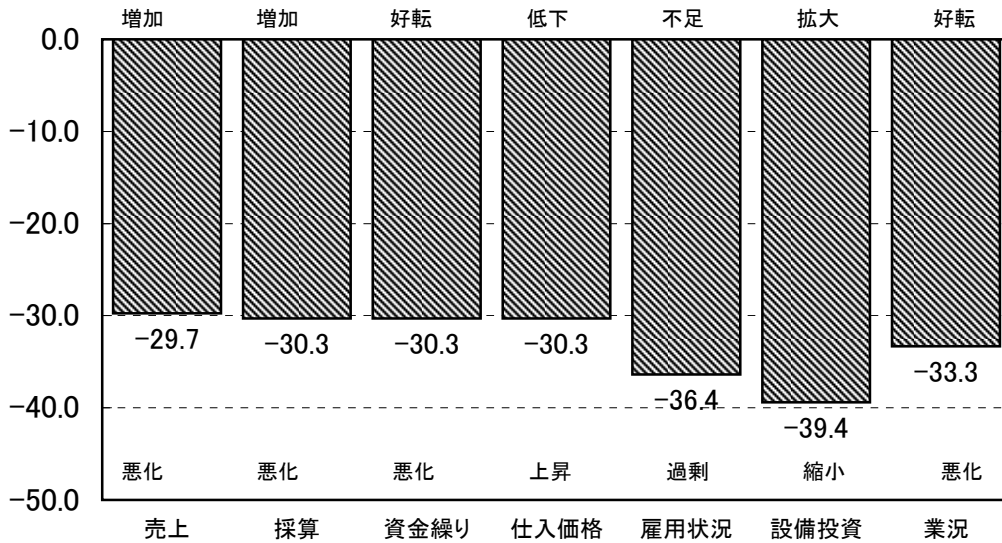
来期見通し(平成22年7～9月見通し)



来期見通しを前回調査時と比較すると、全てのDI値において大きく回復を示した。見通しとしては、口蹄疫からの復興に向けての動き、消費者の需要の増加が期待されており、製造業の来期に関しては明るい兆しが見えてきている状況である。

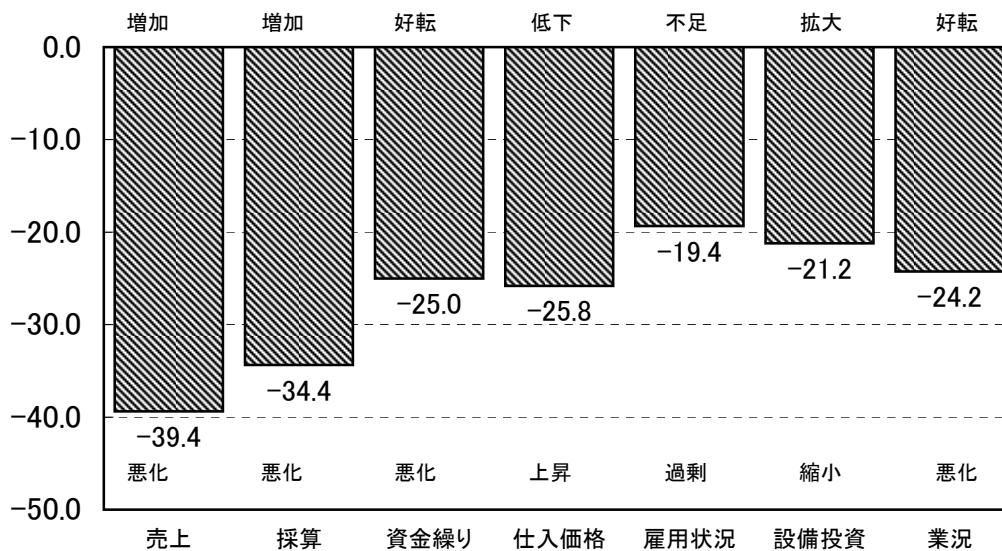
(2) 建設業

前期比(平成22年1～3月比)



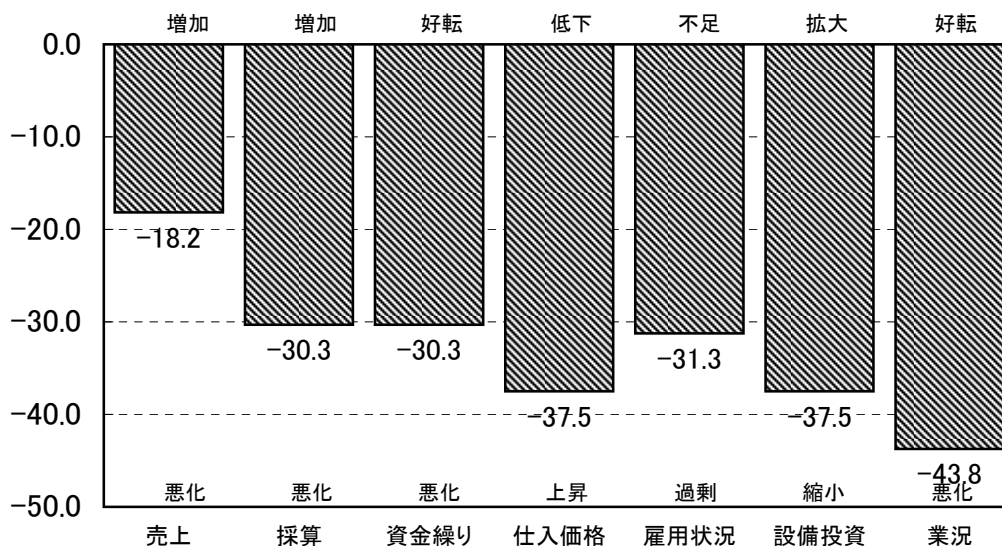
前期比を前回調査時と比較すると、全ての項目で悪化を示した。売上の悪化など、前期よりさらに悪化の状況にあり、受注減少や競争の激化による影響が大きい。受注が見込んでいた企業もあったが第1四半期においては全体的に厳しい状況である。

前年同期比(平成22年4～6月比)



前年同期比を前回調査時と比較すると売上が(△8.8)からの大きな悪化を筆頭に採算の悪化が目立つ。資金繰りについては(△35.3)からの回復を示しているが、受注減少の続く中では十分な資金確保は難しい状況で、営業を続けなければならない。

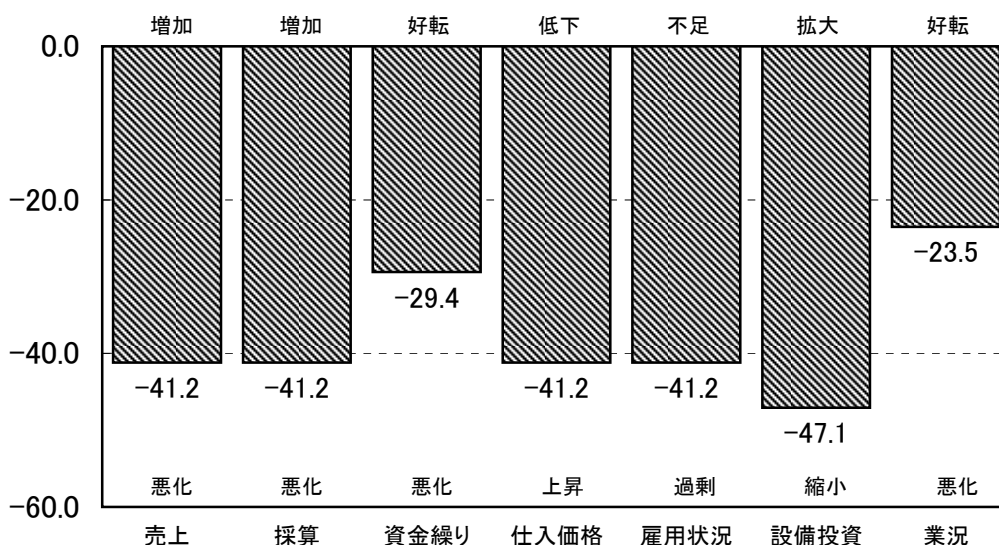
来期見通し(平成22年7～9月見通し)



来期の見通しとしては、売上DI値の回復が大きい。業況においても前回調査時からわずかな回復を示した。今後、来期にかかる公共工事や需要の増加が見込めることにより、企業の置かれる状況は少しではあるが、緩和される様子である。

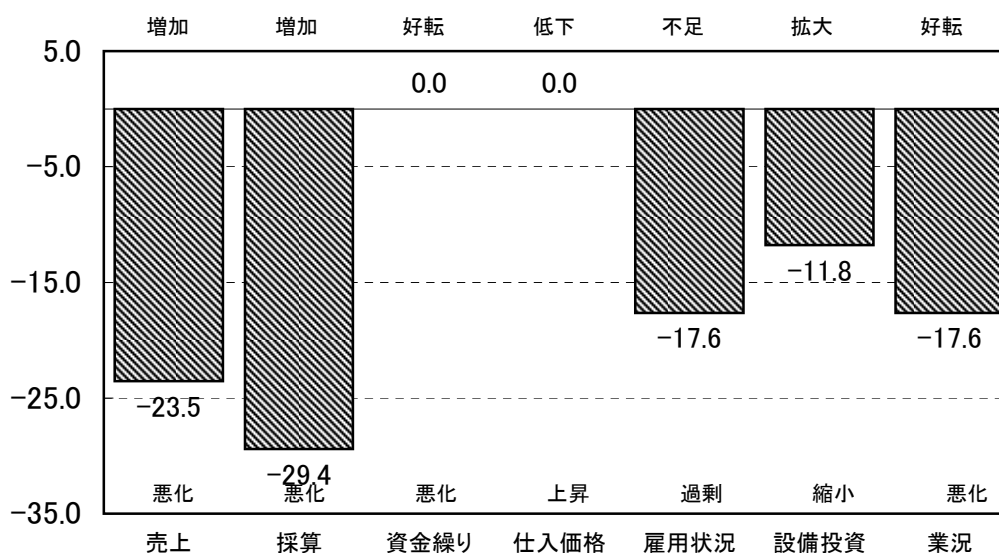
(3) 卸売業

前期比(平成22年1～3月比)



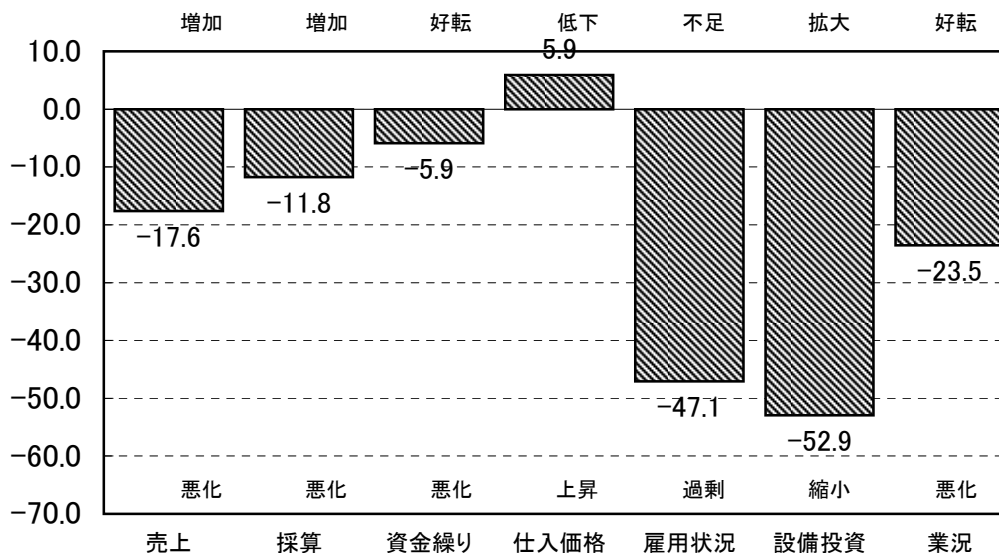
前回調査時と比較すると、業況DIが(Δ31.3)より大きく回復を示したが、その他のDIは全て10ポイント以上の悪化を示した。理由として、多くの企業が口蹄疫を挙げ、影響の大きさを物語るっており、今後の動向が売上の増減に大きく関わってくる。

前年同期比(平成22年4～6月比)



前年同期比を前回調査時と比較すると、資金繰りは大きく回復したが、採算が10ポイント近い悪化を示した。グラフから売上悪化の動きはないが、口蹄疫の関係による売上減少、収益性の低下がさらに業界を圧迫していく状況である。

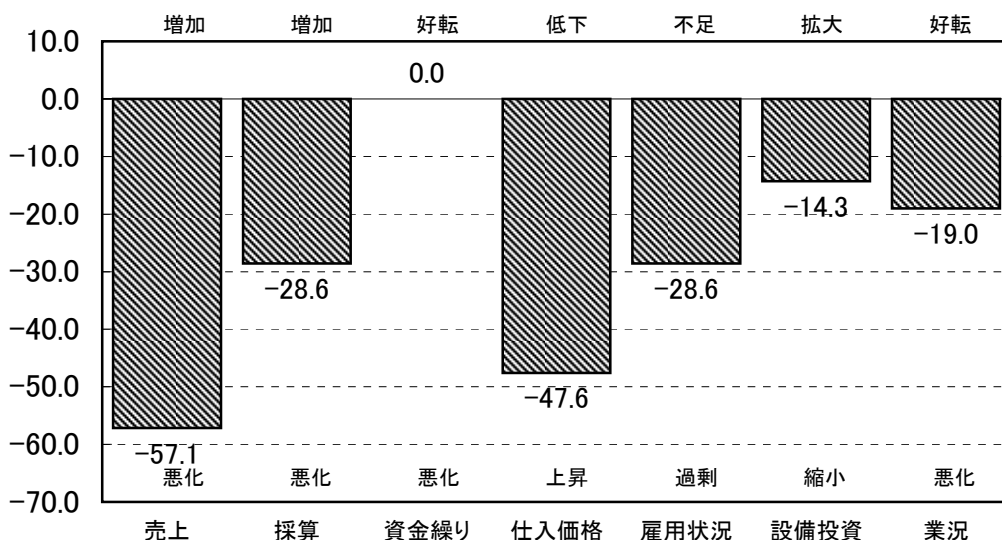
来期見通し(平成22年7～9月見通し)



来期の見通しとしては全体的に回復傾向のグラフの動きを示している。しかし、今後、口蹄疫が与える影響の大きさや消費不振による経営への圧迫が不安視されている。時期的な売上の増加は見込めるものの、企業存続の資金繰りなど不安材料は多い。

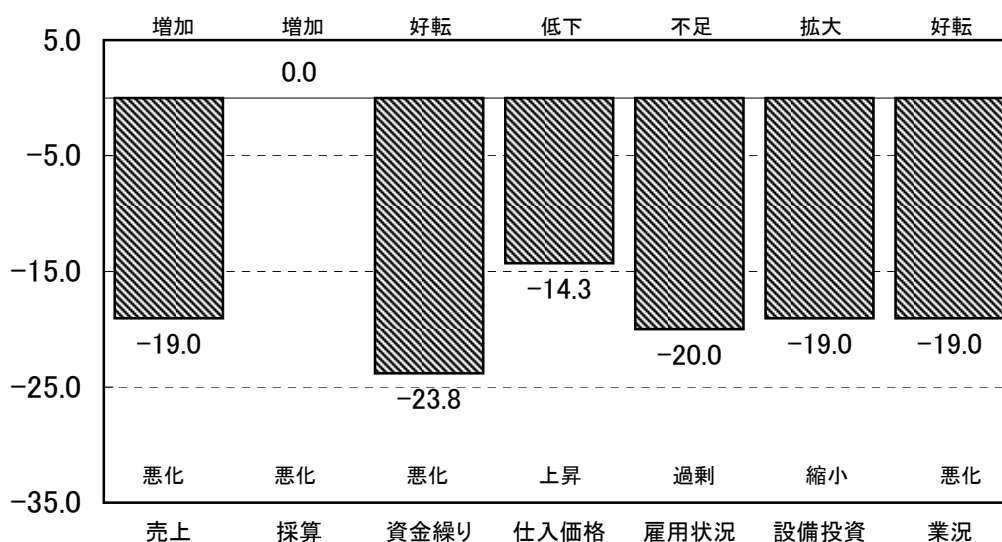
(4) 小売業

前期比(平成22年1～3月比)



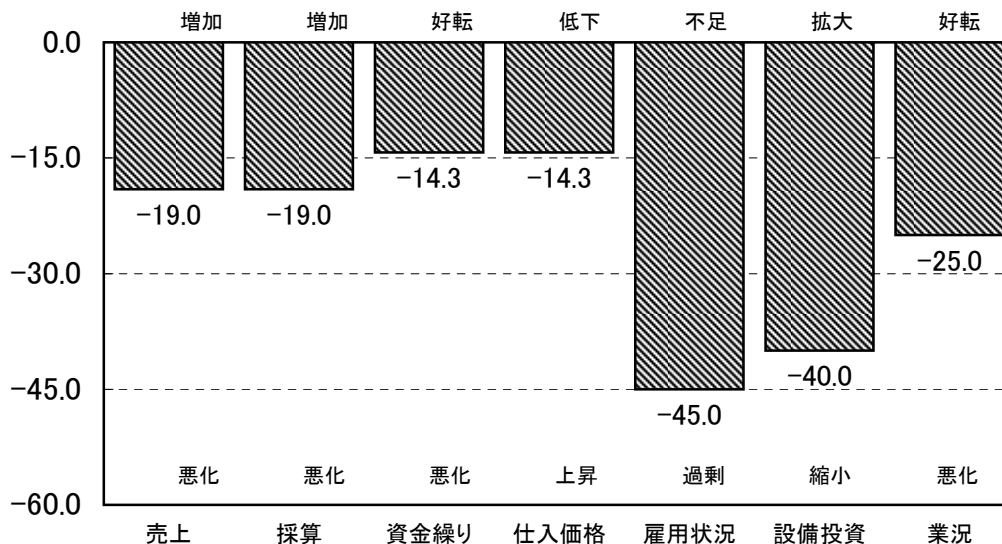
前期比を前回調査時と比較すると、売上DIの悪化が大きく(△16.7)より40ポイントの悪化となった。また、仕入価格DIについても2倍近い悪化となった。前期の頻忙期と口蹄疫の影響が合わさり、極端なDI値の悪化を示す結果となった。

前年同期比(平成22年4～6月比)



前年同期比では採算DIが前回調査時より、25ポイントの回復を示したが、その他の項目においては横ばいとなった。仕入単価の上昇に加え、口蹄疫の発生により売上の減少、受注減少によって、企業は厳しい状況に立たされている。

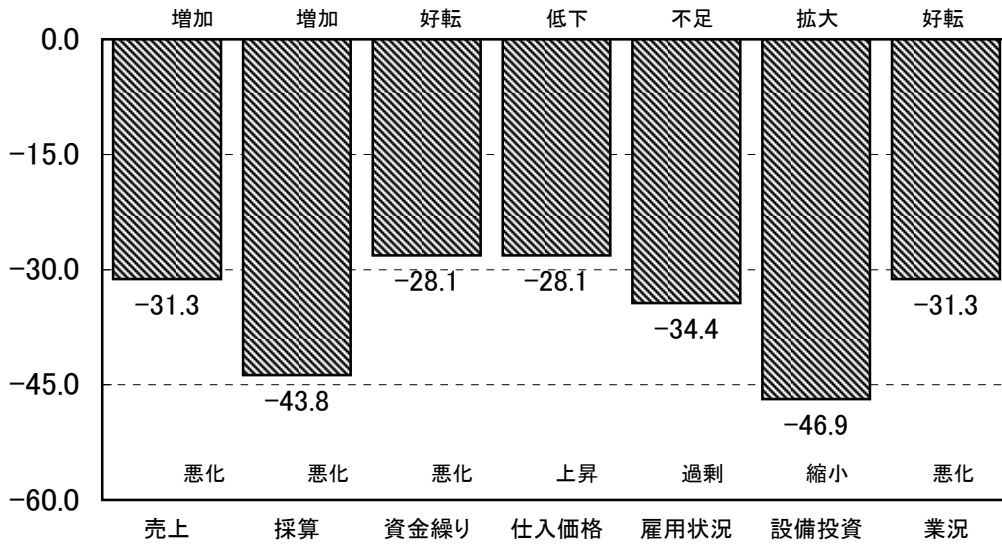
来期見通し(平成22年7～9月見通し)



来期の見通しとしては、マイナス幅が小さく、回復が見込める様子である。国の減税などによる駆け込みの需要を期待する企業があるものの、円高による仕入れ価格の変動による悪化を懸念する企業が多い。また、今後口蹄疫の影響が不安視されている。

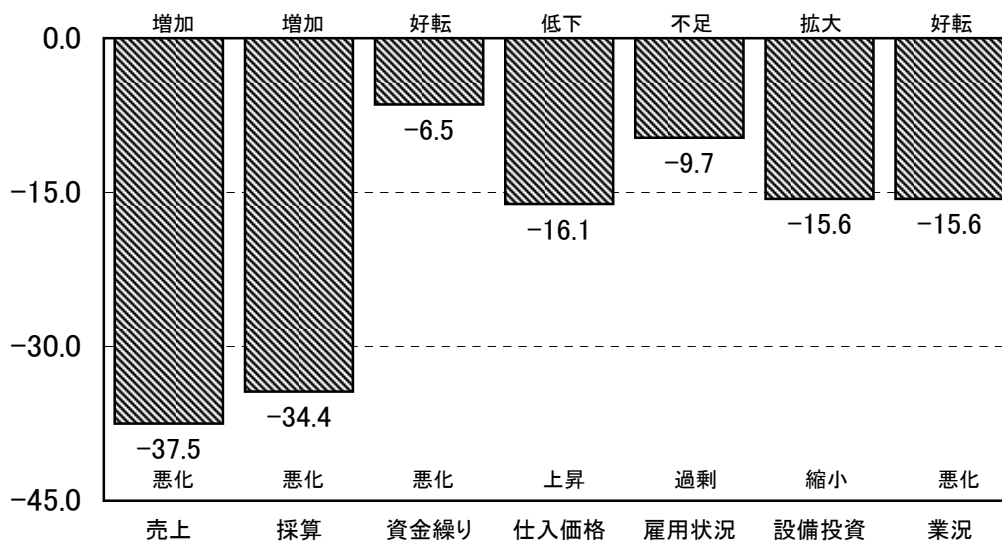
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成22年1~3月比)



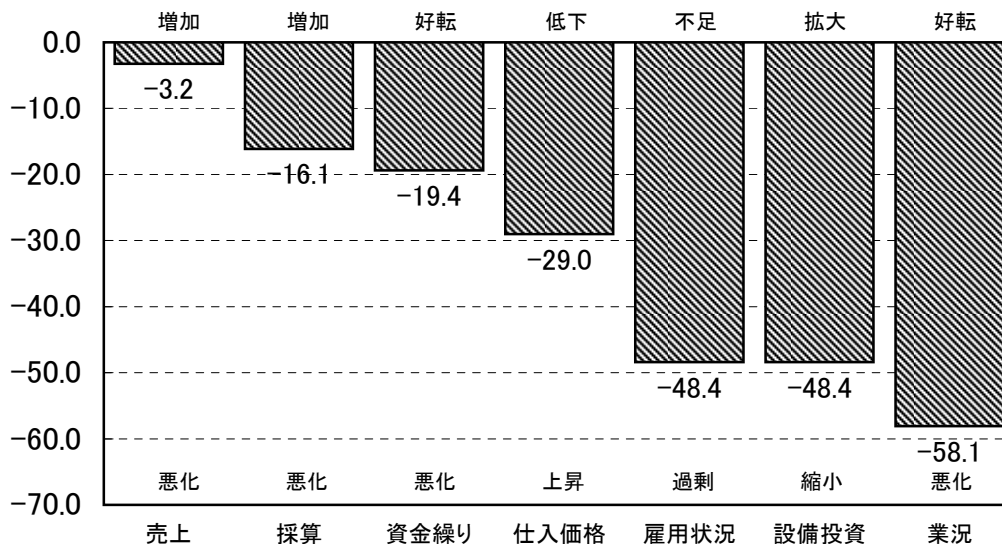
前期比において採算DI・設備投資DIが前回調査時と比較すると大きく悪化に転じた。県知事の口蹄疫非常事態宣言以降、消費者のキャンセルが相次いだことや県外客の動きがなくなったことにより、採算の取れない経営を余儀なくされている。

前年同期比(平成22年4~6月比)



前年同期比を見ると、前回調査時とほぼ横ばいを示した。仕入単価の上昇に加え、受注、消費の低迷により売上の減少が続いている。また、口蹄疫による被害の影響で受注の減少が進み、収益が見込めない状況に立たされている。

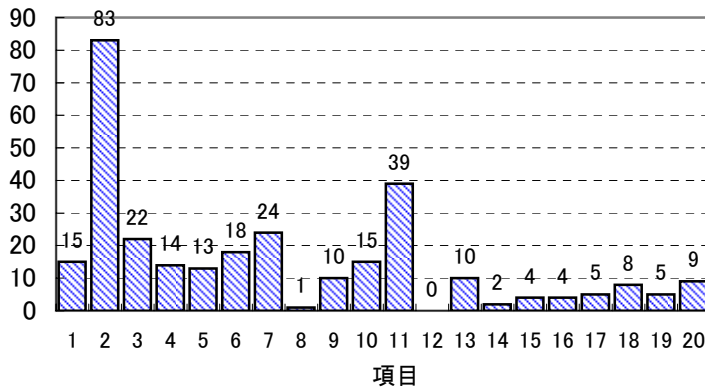
来期見通し(平成22年7~9月見通し)



来期見通しとしては、業況の悪化が特に大きい。口蹄疫非常事態宣言解除があったとはいえ、これからの復興に時間を要すると考えている。今後、口蹄疫からの復興、また売上の増加について行政の支援も含めた取り組みを行うことが必要となる。

6. 経営上の問題点

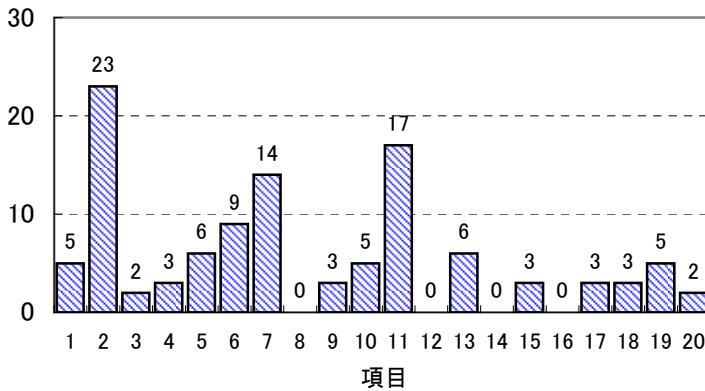
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 製品ニーズの変化

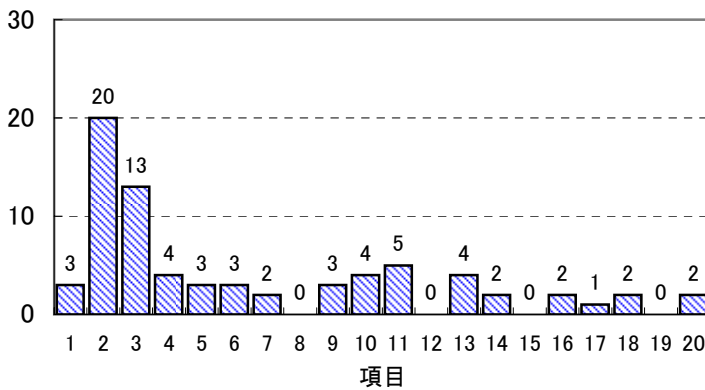
製造業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



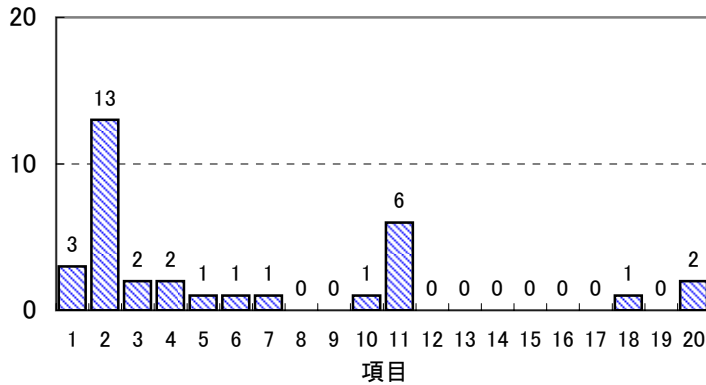
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 人件費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

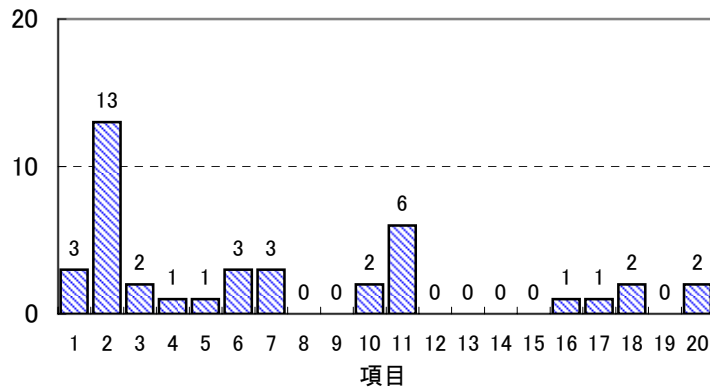
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 新規参入業者の増加

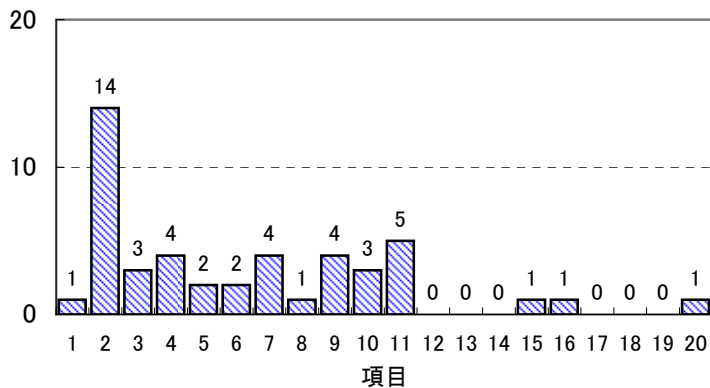
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

サービス業



順位

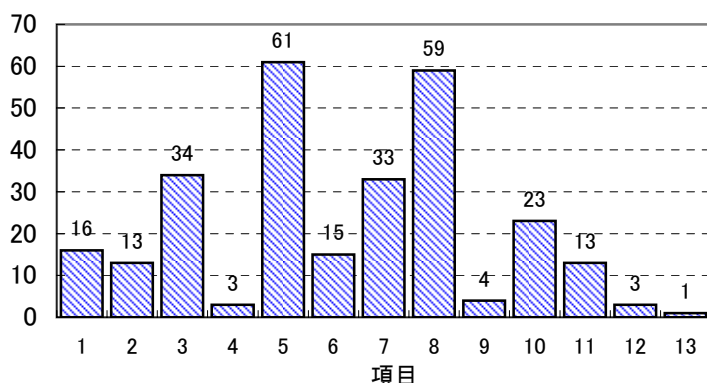
- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 新規参入業者の増加
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

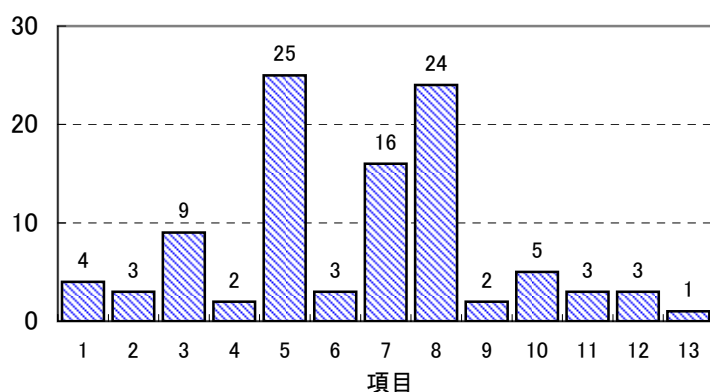
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

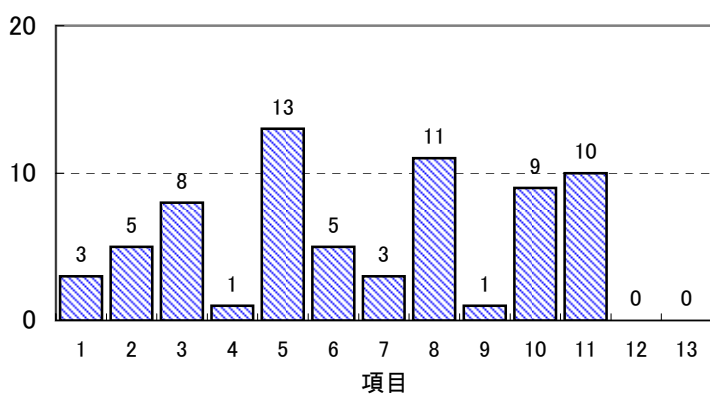
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



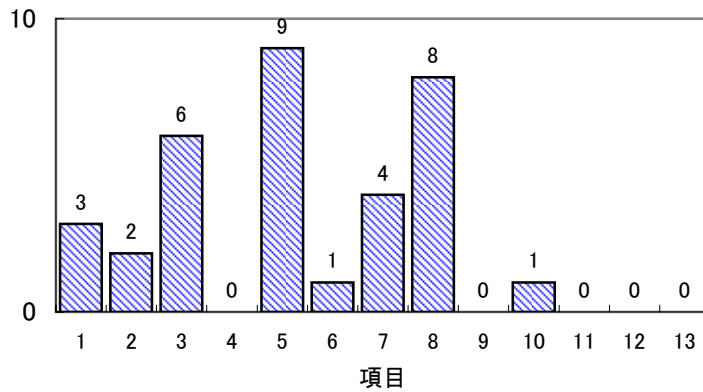
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 下請け発注を減らしたい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

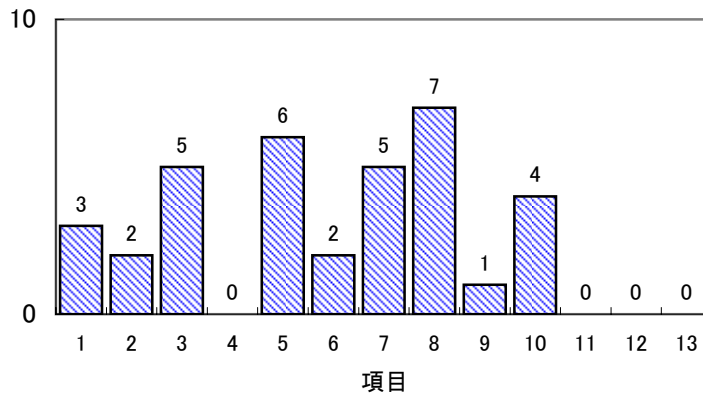
卸売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

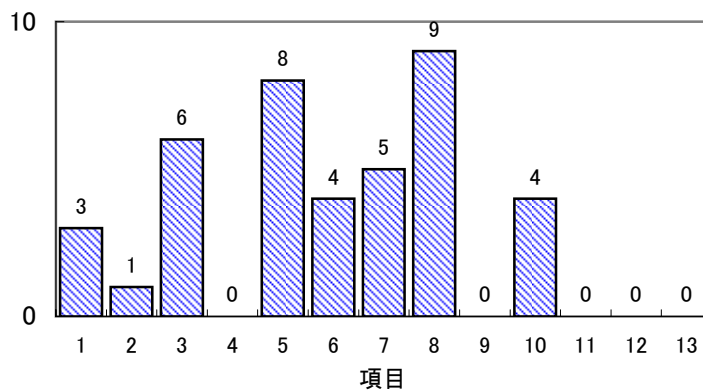
小売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 設備投資を縮小したい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	製材・チップ	都城	民主党の「森と里の再生プラン」で、国産木材に対する国のバックアップの骨子はできており、木材住宅産業を「地域資源活用型産業」の柱とすると謳ってあることで、より身近な地元で国産材の需要が予想できる。しかし国産材の需要は、あくまでも建設工事の中に発生するため建設会設の受注金額に、木材販売単価が大きく左右されるのが現状であるので、おおもとになる社会全体の景気回復が一番の根本であると思われる。
製造業	アルミ製品製造業	都城	公共工事の予算枠の拡大
製造業	建築資材卸	都城	現状の収益環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、企業としては、中長期的な成長戦略を見直す好機と考えております。
製造業	一般機械器具製造	宮崎	東南アジア各国の経済成長←海外設備投資(輸出増)
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	口蹄疫の影響は本当に大きいが、逆に全国への知名度は大きくなった。県内が元気になるような仕組みを作って早急に実行して欲しい。
製造業	食品添加物製造業	宮崎	時代遅れの政策を継続していて、グローバル化に対応できていない。改革のスピードも遅い
製造業	電子電気機械部品製造	宮崎	法人税の見直し
製造業	化学工業	延岡	宮崎県の港湾整備の強化。大型タンカーの入港を可能とするバースの整備をお願いしたい。
製造業	鉄工業	延岡	延岡は、九州宮崎県でも内外からの交通アクセスが最低。先日、宮崎市でのある団体の会合での雑談中に、延岡(県北)は、早く手を打ち目途を立てないと永久にダメな地域になるのではないかと指摘あり。当たっていると思う。
製造業	鋼材加工販売	延岡	公共事業の予算増額と早期執行。
製造業	タイヤコード製造1	日向	内需拡大(エコ減税等の継続)法人税の減(世界水準並にする)円高対策(製品輸出ができなくなる)
製造業	二酸化マンガン製造販売	日向	政権与党の安定。国益にかなう経済政策、外交政策の遂行
製造業	金属加工業	日南	投資減税みたいな制度を設けてもらいたいものです。動き出そうとしているときには設備投資は大切です。設備投資は動き始めています、納期と価格は元に戻りつつあるようです。
製造業	自動車専用部品製造	日南	教育訓練等の助成をお願いします。社員ステップアップ、離職防止を考えると教育訓練は需要は項目です。すぐには利益に通じるものではありませんが中小企業が生き抜くにはこの項目は外せません。
建設業	管工事	都城	働いても働いても利益が出ない、個人的には生活は苦しい。これが長く続くと、複雑な税制度や不透明な税の使い道、公人の優遇等を最初に改善していただけないと、働く意欲が無くなります。
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	国内の需要とは違った流れで、材料費が高騰している。国策として資源の確保が重要な時期になったと感じる。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	長引く不況に加えて、宮崎は口蹄疫発生で、産業活動が沈滞してしまった。行政には、畜産農家への支援はもちろんであるが、全産業に目を向けて活性化への対策をお願いしたい。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	官公庁物件・件数(発注が少ない)。一般競争入札制度により、同業者参加が多くなり、受注が取れない。最低価格を割り、入札する業者増の傾向が見られる。
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	口蹄疫の処理費がどの位かかっているのか? 県・各市町村の持ち出しと国からの支援がどの様になるのか、分ければ一覧表で、送付してもらいたい。公共土木を主として受注しているので、どの位の予算があるのか調べて欲しい。

建設業	電気工事	延岡	建設業(設備)に携わる立場で、お願いしたいことは、過去にも記入しましたが、公募公告等に施工実績条件等が、いつの時も現況を考えられず、従来通りの10年以内の条件です。又過去に大手企業等が施工された工事等で、近年工事発注も少なく、受注機会も少なく、今後は、大手企業だけを相手にしか考えて居られないのでは?と思われます。地元中小零細業者にも機会を下さい。
建設業	建設業	延岡	一般競争は、なるべく少なくしたらどうか
建設業	建設業	日向	地方が元気になるような景気刺激策を! 長期の成長戦略に基づく政策を!
建設業	鉄骨建築業	高鍋	現在、建築を受けるのにあたり、県内の生コン組合、組合単価がネック、地区一律単価、支払いは翌月現金払い、契約時施主に生コン代を現金としていただかないと難しくなってきました。これでは契約してもらえない状況です。
建設業	建築一式工事	高鍋	とにかく今は牛、豚の畜産農家の方々に希望をもっといただく政策、環境づくりを早急にしてほしい
建設業	土木工事一式	串間	公共工事の削減、口蹄疫等の影響を受け売上高の減少が予想され一段と厳しい経営内容が続くと見られ抜本的な売上対策が必要であり経営合理化をしなければならない。運転資金の融資緩和をお願いしたい
卸売業	食料品卸売業	都城	実効税率の早期見直し
卸売業	青果卸売業	宮崎	口蹄疫の影響が響いている。
卸売業	包装材文具日用品卸	宮崎	新政権も何かもたもたしている様に思うが、景気対策をしっかりと実行していただきたい。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	口蹄疫対策、防疫対策を望む
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	宮崎県は不況の上に口蹄疫の副作用ですべての業種が落ち込んだ。これが以前のレベルに回復するには1~2年以上かかると思う。民主党は金利の補助など速やかに手をうってほしい。先日の宮日記事に2日続いで出たことだが信用保証協会の金利の取りすぎは速やかに訂正し内容の透明性を求め公開して貰わないと特に小企業にとっては銀行と協会との二重金利に潰されている。この口蹄疫事件を機に廃止してもらいたい。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	今回の口蹄疫により大幅な売上低下となった。高鍋や西都はもちろん、日南や日向、延岡、宮崎と売上低下による資金繰りの悪化を招き、経営に多大な悪影響を及ぼした。これを誰が責任取ってくれるのか? 行政はこの事を真摯に受け止めて、再発防止と産業の活性化に取り組んでほしい。出切れれば、写真の需要を創造してほしい。
小売業	製作家具一般家具	宮崎	与党も野党も足の引っ張り合いで党のことを考えるのではなく国のことを考えて政策を実行してほしい。不景気から早く抜けだすよう対策を取らないと日本がつぶれてしまう。口蹄疫に対しては今からが本番だと思って対応してほしい。
小売業	食料品小売業	高鍋	口蹄疫が終息することによりいづらかの好転が望めます。商店街に対してのまちなか活性化の県の補助に感謝しています。
小売業	ガソリンスタンド	日南	口蹄疫による経済の沈滞ムードを1日も早く復興してもらいたい。
サービス業	ホテル業	都城	ホテル業は、特に設備投資、修繕が必要不可欠な産業ですので、固定資産税、事業所税の減免を希望したいと思います。
サービス業	一般旅客自動車運事業	宮崎	口蹄疫終息宣言後の景気対策として、まず宮崎への観光客誘致に全力での取り組みをお願いしたい。
サービス業	美容婚礼業	宮崎	景気対策を早急に実施してほしい。
サービス業	旅館業	延岡	口蹄疫による損害を取り戻したい。イベントや合宿やビジネス等の人の流れが増えるように配慮してほしい
サービス業	ホテル飲食	日向	市・県・国に対し不平不満は一杯あるが鞭釘で均衡ある発展への行動が乏しい。細島港が重要港湾に指定されたことは将来県北の発展として特筆大書に値する。
サービス業	ホテル	日南	口蹄疫の復興について観光業にも援助をお願いしたい。